



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

Share Rotary-

みんなにロータリーを

Serve People

みんなに奉仕を

1983~'84 R.I 会長 ウィリアム E. スケルトン

長谷川会長 クラブターゲット 青少年の心にロータリーのほほえみを

第 274 回 例会 58 年 12 月 15 日 第 ~~273~~ <sup>280</sup> 号

### 出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
49名	44名	93.62%	100%

欠席者

合田、三浦、竹之内(病欠承認者 2名)

本日のプログラム 12月 22日

卓話「国の財政について」織間堅次氏

次週予定 12月 25日

夜間例会 午後4時

司会 SAA 土屋翁三君  
ソングリーダー 上村幹雄君「奉仕の理想」

## ビジター

上坂信夫君(東京港南)、青木哲君(藤沢北)、前田俊昭君(厚木)、安藤忠夫君、蒲生秀雄君、星幸男君、石井勇君、藤本孝君、小森侃君、石田良一君、宮沢義武君、古木通夫君(大和)、橋本理吉君、小倉武君(大和田園)

## 会長報告

会長 長谷川清一君

- ①青木会員が本日より会員になります。
- ②来春青少年交換留学生が当クラブへ参ります。
- ③先週の4クラブ合同例会には担当の方々お骨折有り難うご座居ました。

会長エレクト猪熊唯夫君

次期SAAに古木勝治会員、副SAAに富沢重徳会員が決定しました。

## 幹事報告

幹事 古木 勝治君

- ①本日定例の理事、役員会を行います。
- ②12月25日の例会は午後4時より忘年会を兼ねて行います。
- ③青木会員は親睦活動委員になられます。

## 委員会報告

社会奉仕委員会 委員長 高橋 政勝君  
募金のご協力有難うご座居ました。

国際奉仕委員会 委員長 鈴木久治郎君

①交換学生受け入れの小委員会メンバーは、現会長幹事ホームカウンセラー次期会長幹事国際奉仕現委員と次期委員長とします。

②アンケート未提出の方はご提出下さい。

③東南アジア親善訪問にふるってご参加下さい。

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40  
大和市商工会館内  
☎0462-63-7926  
例会場：大和市大和南1-4-4  
八千代信用金庫大和支店4階  
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より  
会長：長谷川清一  
会長エレクト：猪熊唯夫君  
副会長：上田利久  
幹事：古木勝治  
会報委員：杉山・福本・菊池・三浦

出席委員会 委員長 中西 功君

うれしいご報告をいたします。

5年皆出席 鈴木久次郎君

親睦活動委員会 副委員長 松崎正実君

本日のお祝いの方々をご紹介します。

お誕生日 亀谷志郎君（12月14日）

原田 穆君（12月21日）

ご夫人お誕生日 亀谷志郎君はま子夫人（12月14日）

橋本健彦君明子夫人（12月14日）

松本忠明君八千代夫人（12月17日）

結婚記念日 長野俊八君（12月14日）

創業記念日 古川 巖君（12月10日）

松崎正実君（12月10日）

松本忠明君（12月15日）

入会記念日 近藤富士男君（53年12月14日）

山中忠誠君（55年12月18日）

## スマイルボックス

お世話になります。東京港南RC上坂会員、藤沢北RC青木会員、厚木RC前田会員、大和RC石田会員、藤本会員、宮沢会員、小森会員、斉藤会員、星会員、古木会員、石井会員、蒲生会員、大和田園RC小倉会員、橋本会員

古川君、創業記念日のお祝い有難うご座居ます。

山中君 入会記念日のお祝い有難うご座居ます。

原田君 誕生日お祝い有難うご座居ます。

鈴木君 皆様のご指導により休まず出席出来ました。

松本君 近藤さん、富沢さん、後藤さん先日は有難うご座居ました。楽しいゴルフができました。

近藤君 入会記念のお祝い有難うご座居ます。

亀谷君 新入会員青木先生をよろしく。

長野君 結婚記念日お祝い有難うご座居ます。

松崎君 創業記念日のお祝い有難うご座居ます。

松本君 創業記念日、女房の誕生日祝って頂き有難うございます。開店の日を思い出します。

有沢君 青木先生ご入会お目出度うご座居ます。

橋本君 妻の誕生日お祝い有難うございます。

## 卓話要旨

「社会と車」

原田 穆君

産業・経済と車 車は全製造生産高の約1割を

占め、全生産高の55%を輸出しています。これは

日本の輸出額の23%に当ります。小売業総販売高

の10%で全就業人口の10%、間接を加えると20%

位になります。全旅客輸送これを何人を何km運ん

だという数でみると乗用車45%バス15% 計60%

です。全貨物輸送は何トンは何km運んだかの数字

で、40%、内航海路が50%、鉄道が10%です。

100km未満の距離ですとトラック輸送が98%を占

めています。

生活と車 従来の自給自足時代の「衣・食・住」

に加えて現代では「交通」が入ると云われていま

す。保有台数は約4300万台で世界第2位です。

昭和15年頃は20万台、昭和35年から10年間に毎年

130%の伸びを示し、乗用車は昭和41年10世帯に

1台が現在は2世帯に1台となっています。車が増え

ると安全環境の問題が出て来ます。リコール

制度は昭和44年に制定され、排出ガス規制は53年

に大体完了しています。44年に比較するとNOX

92%減、CO 95%減、HC 96%減です。騒音につ

いては乗用車1/4、トラック1/8減っています。交通

事故は昭和45年が最高で死傷者1万7千人で今年

は9千人に近づいています。車の利用日数は毎日

利用している人が45%、用途別には、通勤4割業

務3割レジャーが2割用たしが1割です。定着感

としては8割の人が手離せない手離す事が不安と

いわれています。

車をめぐる税制 総税収の10%が車関係の税金

です。道路投資額のほとんどを車の税金でカバー

しています。ヨーロッパでは6割程度です。

エネルギーと車 全石油製品の2割を車が消費

しています。燃料消費率は毎年1割以上燃費は向

上しています。経済運転については、急発進と急

加速につきます。内燃機関の効率向上が今後の大

きなテーマだと考えています。